

日刊 建設工業新聞

11月26日

火曜日
第18351号

仙台市内最大級の72ha

区画整理を代行

フジタ・オオバ

フジタは25日、オオバとの共同企業体として、仙台市富沢駅西土地区画整理組合が施行する「仙台市富沢駅西土地区画整理事業」の業務代行者に決まったと発表した。施行区域面積約72ha、関係権利者約290人という市内最大級の区画整理で、フジタが造成工事と組合事務局の運営、オオバが調査設計業務を行う。仙台駅の南約6km、市営地下鉄南北線富沢駅から約1.5kmに位置する。事業期間は8月～20年3月。フジタは9月27日に業務代行契約を締結していた。

土地利用計画は▽住宅用地(戸建て)約26・2ha▽沿道業務用地(商業施設など)約12・0ha▽業務用地(医療福祉施設など)約8・3ha▽公共施設用地(道路・講演・調整池など)約25・5ha。

計画人口は約2330人。

街づくりは、「サステイナブル・ライフ・タウン」がコンセプト。高齢化社会を見据え、医療福祉関連施設を整備し、暮らしを生涯にわたって支援する環境を整える。幹線道路沿いには、商業施設をはじめ生活サービス施設の立地を促す。

都市機構

オオバに決まる 石巻市新門脇地区換地設計

都市再生機構は、石巻市新門脇地区換地設計その他業務(WTO対象)の公募型競争入札を行った結果、2億9000万円、オオバに決めた。予定価格は3億1342万4313円。

入札方式の試行業務。オオバは同地区で17年度まで換地設計を手掛ける。履行期限は14年3月31日。

当初業務と契約予定業務の一括競争入札で落札者を決定する協定型一括